輪島市　宅田上野山遺跡（たくだうわのやま）　現地説明会資料

令和 5(2023) 年 8 月 27 日（日）
（公財）石川県埋蔵文化財センター

◎ 調 査 地　　輪島市宅田町地内
◎ 委 託 者　　石川県奥能登土木総合事務所（石川県土木部道路建設課）
◎ 調査原因　　一般国道249号 輪島バイパス整備事業
◎ 調査主体　　石川県教育委員会（調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター）
◎ 調査期間　　令和５年５月１０日～令和５年12月28日（予定）
◎ 調査面積　　約3,960㎡

宅田上野山遺跡と輪島市街地（南西から）

◎ 調査の概要

遺跡は、輪島市街地の南、河原田川（かわらだ）と鳳至川（ふげし）に挟まれた台地（通称上ノ山（うわのやま））上に立地する、縄文時代と古代の集落遺跡です。

昨年度の調査では、谷部で縄文時代後期～晩期頃の石器製作や祭祀（さいし）の場などを確認し、その谷を挟んだ丘陵上には、掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）を中心とする古代や江戸時代の集落を確認しました。

今年度の調査では、昨年度調査区の東側に古代の掘立柱建物の柱穴が数多くみつかり、複数の掘立柱建物が整然と並んでいた様子が明らかとなってきました。

また、塀とみられる柱穴列、土坑、溝などの遺構も確認しています。

これらは、付近に存在していたとされる鳳至郡の郡衙（ぐんが）（郡家（ぐうけ）＝古代の役所）で郡司層（ぐんじそう）を務めていた、在地有力豪族などの居宅（居館）である可能性があります。

この他、昨年度の調査に引き続き、縄文土器や製作途中の石鏃（せきぞく）や石斧（せきふ）なども出土しています。

（地理院地図を改変）

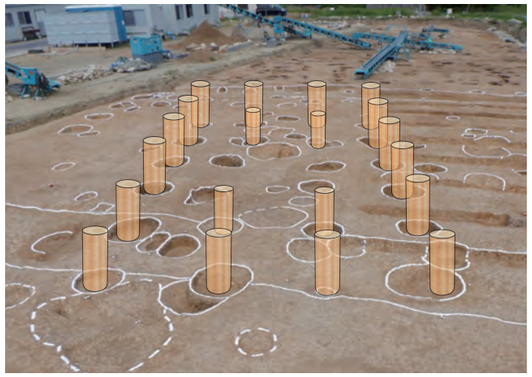
宅田上野山遺跡と周辺の主な遺跡

1　稲舟古窯跡（市史跡：古墳時代）
2　塚田遺跡（縄文時代）
3　杉平円山古墳群（古墳時代）
4　山岸遺跡（中世、近世）
5　河井町遺跡（古代）
6　釜屋谷B遺跡（古代、中世）
7　四ツ塚古墳群（市史跡：古墳時代）
8　釜屋谷昭南遺跡（古墳時代、古代、中世）
9　中段B遺跡（古代、中世）
10　鳳至町畠田遺跡（弥生、古代）
11　中段の板碑（県史跡：鎌倉時代）

令和５年度調査区の主な建物の配置

R4　掘立柱建物（側柱建物、北から）

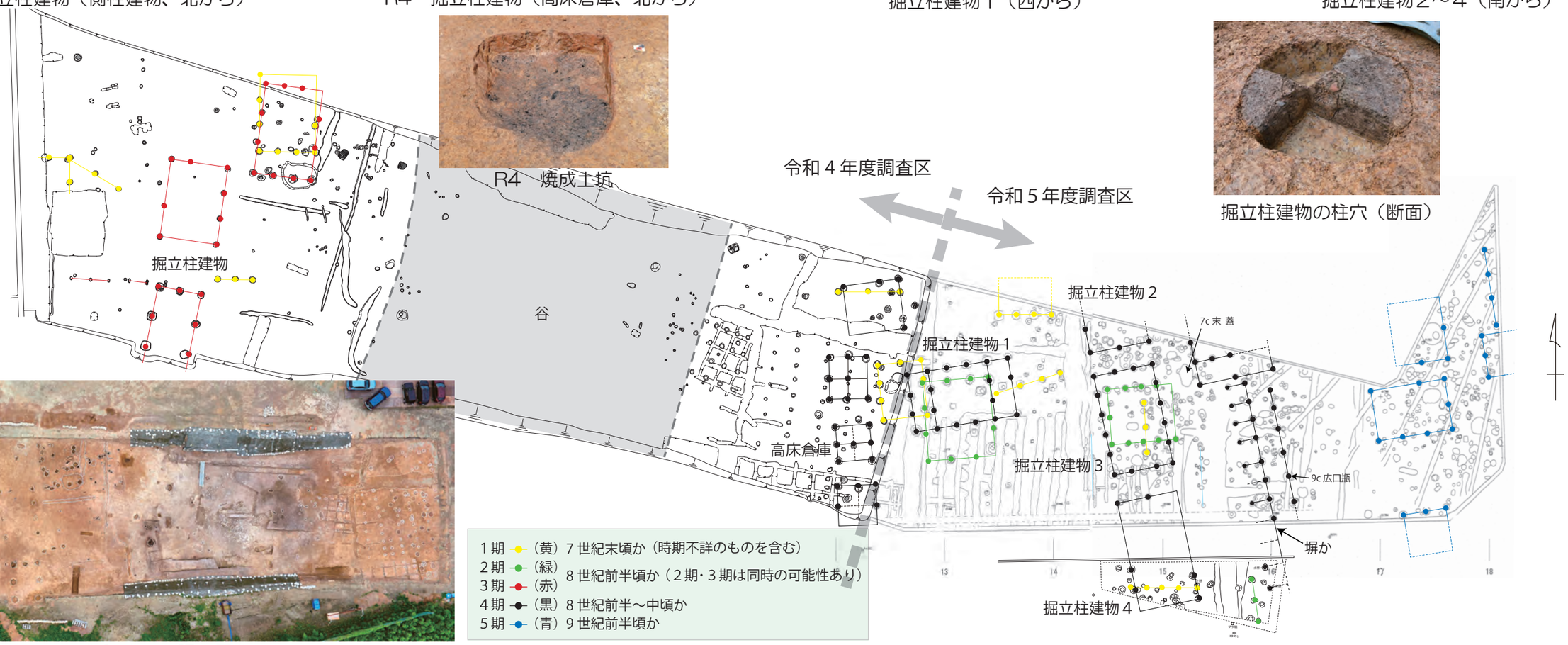
R4　掘立柱建物（高床倉庫、北から）


掘立柱建物１（西から）

掘立柱建物２～４（南から）

R4　焼成土坑

掘立柱建物の柱穴（断面）



令和４年度調査区全景

◎調査成果のまとめ

昨年度みつかった高床倉庫とみられる古代（奈良・平安時代）の掘立柱建物群の東側に、東西方向に主軸を持つ３×５間の大型掘立柱建物１を確認しました。直径約80㎝の大きな柱穴が整然と並ぶ、間仕切りを持つ構造の建物で、豪族居宅（居館）の主屋とみられます。主屋の東側には南北方向に主軸を持つ３×５間の大型掘立柱建物が３棟並んでおり、その東側には塀とみられる２列の柱穴列を確認しました。４期と復元した居宅の範囲は約半町（約 55m）四方とみられます。柱穴からの出土遺物が少なく、正確な時期は今後の発掘調査や整理作業により検討しますが、８世紀前半～中頃の可能性があります。

また、平安時代になると東側にややずれた場所に新たな居宅が建て替えられています。

これまでの調査成果からは、旧中学校運動場から校舎周辺一帯に古代の建物群が建てられていたことがわかっており、古代鳳至郡の中心となる地域とみられます。

塀の柱穴（断面）

塀の柱列（検出状況、南から）